

2025 年 11 月 12 日

報道機関 各位

**戦後 80 年記念講演：デンバー大学ボニー・クラーク教授が語る
「アメリカの日系人収容所における日本人の抵抗・誇り・そして文化の表現」**

第二次世界大戦中、アメリカではおよそ 12 万人の日系人が強制的に収容所へ送られました。多くはアメリカ国籍を持つ人々でしたが、戦時下の偏見と恐怖の中で、自由と尊厳を奪われた生活を強いられました。日本では「戦中の国内の日本人の苦難」は広く知られていますが、**国外で同じ時代を生きた日本人や日系人が直面した現実**については、まだ十分に知られていません。

このたび長崎大学では、アメリカ・デンバー大学の考古学者 **ボニー・クラーク教授 (Prof. Bonnie Clark)** を招聘し、戦後 80 年を記念した特別講演「**アメリカの日系人収容所における日本人の抵抗・誇り・そして文化の表現**」を同時通訳付きで開催いたします。

クラーク教授は、コロラド州グラナダ（アマチ）収容所跡地の発掘調査を長年にわたり主導し、収容生活の中で人々がどのように**庭園づくりや文化活動を通して日本人としてのアイデンティティを保とうとしたのか**を明らかにしてきた第一人者です。本講演では、考古学的資料や当時の写真、証言をもとに、強制収容という極限状況の中で人々が示した「希望と文化の表現」を読み解きます。

日本ではまだ十分に知られていない、アメリカの歴史のもう一つの側面を知る貴重な機会です。多くの方々のご参加をお待ちしています。

【講演概要】

日 時：2025 年 12 月 13 日（土）15:00～16:30

会 場：出島メッセ長崎 コンベンションホール 1

講 演：「アメリカの日系人強制収容所における日本人の抵抗・誇り・そして文化の表現」

講演者：デンバー大学人文科学部長 ボニー・クラーク (Prof. Bonnie Clark) 教授

参加費：無料（要事前申込）

言 語：英語（同時通訳付き）

本講演をぜひ、広くご周知くださいますようお願い申し上げます。

また、当日の取材にもぜひご協力いただけますと幸いです。なお、取材をご希望の場合は、下記問い合わせ先まで会社名、参加人数、連絡先等を 12 月 5 日(金)の 18:00 までにお知らせください。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学環境科学部 教授 五島聖子 Email : gotos@nagasaki-u.ac.jp



長崎大学 戦後 80 年記念講演

アメリカの日系人強制収容所における 日本人の抵抗・誇り・そして文化の表現

2025 年 12 月 13 日（土）

出島メッセ長崎 コンベンションホール1（同時通訳付）



講演者：ボニー・クラーク博士

デンバー大学人文科学部長

クラーク博士は、コロラド州アマチにあった第二次世界大戦中の日系アメリカ人強制収容所の発掘を過去 20 年余に渡って行ってきた考古学者です。クラーク博士の発掘調査により、アマチ日系人収容所跡地は、昨年、アメリカの国立公園として遂に認定されるに至りました。クラーク博士の功績は、日本でも高く評価され、2022 年に外務大臣賞が授与されました。戦後 80 年を記念して、平和を祈る長崎の地で、アメリカに渡った日本人の平和への想いと日本人としての誇りを、アマチ日系人収容所を通じて紹介します。

アマチ日系人収容所写真

プログラム

- 15:00~15:05 長崎市長挨拶：「長崎と戦争の記憶」
- 15:05~15:15 京都芸術大学芸術学部歴史遺産学科長
日本庭園・歴史遺産研究センター 所長
仲隆裕教授：「日本人と庭」
- 15:15~16:10 クラーク博士 講演
- 16:10~16:20 質疑応答
- 16:20~16:30 長崎大学理事：「閉会の辞」

申し込み

右記の QR コードから登録してください。

※当日の参加も可能ですが、同時通訳機の準備のため
可能な限り事前登録をお願いします。

お問い合わせ 長崎大学環境科学部教授 五島聖子
gotos@nagasaki-u.ac.jp

入場料無料



主催：長崎大学環境科学部教授（五島聖子）・長崎大学グローバルリスク研究センター

※本講演会は、日本学術振興会科学研究費により実施します。